

注 意 報

各関係機関の長 殿

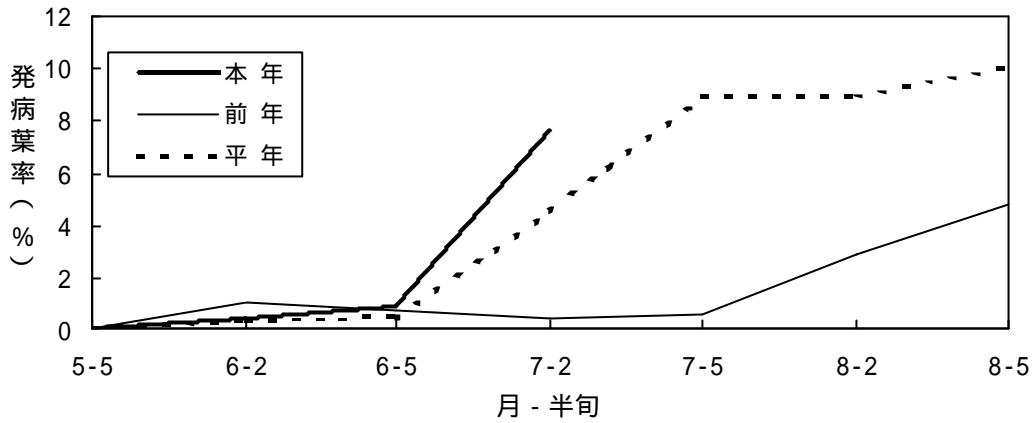
福岡県病害虫防除所長

平成15年7月15日15病防第67号の病害虫発生予察注意報第1号（ブドウべと病）については、次のように訂正しますのでよろしくお願ひします。

改正内容：防除薬剤一覧表のボルドー液を削除する。

平成15年度病害虫発生予察注意報第1号

- 1 対象作物 ブドウ
 - 2 病害虫名 べと病
 - 3 発生地域 県下全域
 - 4 発生時期 やや早い
 - 5 発生程度 多い
 - 6 注意報発令の根拠
- (1) 7月2半旬の定期調査では、発病葉率7.7%（平年：4.6%、前年：0.4%）、発生ほ場率85.7%（平年：45.5%、前年：28.6%）と平年より多かった。
- (2) 7月11日付の福岡管区気象台の1か月予報では、気温及び日照時間は平年並で、降水量は平年並が多いと予想されている。しかし、向こう1週間は日照の少ない状態が続くと見込まれている。
- (3) 本病の病原菌は気温が20～24で、雨が多く、湿度が高いと多発しやすい。
- 7 防除上注意すべき事項
- (1) 発病後の防除は、効果が低いため予防散布を徹底する。
- (2) 薬剤は第1表を参照し、農薬使用基準（収穫前日数・使用回数）を遵守する。
- (3) 罹病葉は感染源となるので極力除去する。
- (4) 園内の通風採光をはかるなど、園内が多湿にならないようにする。
- (5) 銅剤散布の場合、降雨の後や散布直後の降雨等によって薬害が発生しやすいので注意する。
- (6) アリエッティ水和剤と無機銅剤との近接散布は薬害のおそれがあるので、間隔をあけて散布する。



第1図 プドウにおけるべと病の発消長

第1表 ベと病防除薬剤一覧表（平成15年度福岡県果樹病害虫防除基準）
使用基準

散布時期	系統	薬剤名	濃度	使用基準	
				収穫前日数	回数
袋かけ後 ～梅雨時期 (6月下旬～ 7月中旬)	銅剤	ICホルト [®] -48Q	25～50	-	-
	有機リン剤	アリエッティ水和剤	800	30	3
	シアノミダ [®] ゾール系剤	ランマンフロアブル	1,000～2,000	14	3
梅雨明け ～収穫期 (7月下旬～ 8月上旬)	銅剤	ICホルト [®] -66D	25～50	-	-